

■第39回「省燃費運転研修会」(油圧ショベル実技研修)を開催しました

(一社)日本建設業連合会 環境委員会 温暖化対策部会は、12月21日(水)に油圧ショベルを対象とした省燃費運転研修会を開催しました。

今回は、コマツ建機販売㈱およびコマツテクノセンタ(静岡県伊豆市)の参加協力のもと、油圧ショベルを使用した省燃費運転による燃費改善効果を測定しました。

オペレーター2名が20t級標準油圧ショベルおよび20t級ハイブリッド油圧ショベルを使用した積込掘削作業時の省燃費運転による燃費改善効果を測定しました。2名平均の燃費改善率(作業量あたりの燃費改善効果)は標準車で49.6%、ハイブリッド車で51.7%の削減の結果が出ました。また標準車の通常運転とハイブリッド車の省燃費運転とでは61.0%の削減効果があることがわかりました。

また当日は実技による「油圧ショベルによる省燃費運転」の他、「地球温暖化と気候変動について」、「施工での地球温暖化への取組み」、「省燃費運転研修 座学標準カリキュラムの紹介」等の講習を実施しました。

日建連では、施工段階におけるCO₂削減活動として、トラック・ダンプ・油圧ショベル等を対象とした省燃費運転を推進しています。2002年より全国各地で省燃費運転研修会を開催し、今回で計39回目となります。施工段階におけるCO₂排出量の約4割強は建設重機で使用する軽油が占めており、建設現場内での温暖化対策を推進する上で「省燃費運転」の徹底と普及促進は重点課題です。

また、省燃費運転は燃料使用量削減による経費節減にも寄与し、重機・車両の長寿命化や安全運転促進にも効果のある活動です。今後も日建連では省燃費運転を建設業界内に広く普及するため、行政や建機業界と連携した活動を展開していく予定です。

○開催日時：2016年12月21日(水) 9:50~15:00

○開催場所：コマツテクノセンタ (静岡県伊豆市)

○主催：(一社)日本建設業連合会

○協力：コマツ建機販売㈱

○対象車種：油圧ショベル標準車、ハイブリッド車

○参加者：計44名 (受講運転手：2名 研修参加者：42名)

○研修内容

実技講習：省燃費運転による積込掘削作業 (通常運転、省燃費運転の実施)

その他講習「地球温暖化と気候変動について」、「施工での地球温暖化への取組み」

「省燃費運転研修座学標準カリキュラムの紹介」

「省燃費 DVD の放映」

「省エネ運転について」、「低炭素型建設機械について」、「省燃費のためのメンテナンス」等

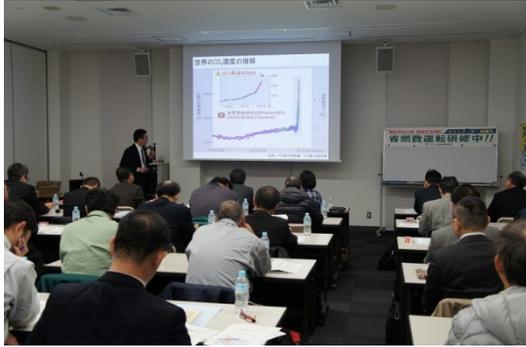
○研修結果：

燃費改善率：標準型油圧ショベル 49.6%

ハイブリッド型油圧ショベル 51.7%

※作業量あたりの燃費改善効果

(1tの作業をするのにどれだけの燃料(L)を消費したかを表す指標)



座学講習「地球温暖化と気候変動」
(日建連 温暖化対策部会)



座学講習「省燃費運転に関する講義」
(コマツテクノセンタ)



省燃費運転による掘削積込作業
実技指導中



省燃費運転実技指導を観覧席から見学



新型建設機械の見学



研修会参加者



受講証伝達



受講証伝達